

LHDPWTOOL_SOFT_Mac_V01

LHD-ENU3BSM/LHD-PBMU3BSM

LHD-ENU3BSM/LHD-PBMU3BSM シリーズ
ソフトウェアマニュアル

Logitec

目次

はじめに

1 使用権許諾と制限事項について.....	3
2 本製品の特徴.....	4

第1章 ユーティリティ概要

1-1. パスワード認証ツールの概要.....	5
1-2. 動作対象機種	5

第2章 基本操作

2-1. パスワードの登録.....	6
2-2. アンロック.....	8
2-3. ロック.....	9
2-4. パスワードの変更.....	10
2-5. パスワードのリセット.....	11

1. 使用権許諾と制限事項について

ロジテックINAソリューションズ株式会社より提供されているソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます。)につきまして、以下の内容を適用させていただきます。

1. ロジテックINAソリューションズ株式会社は、本ソフトウェアをロジテックINAソリューションズ株式会社から提供されるハードウェアにおいて使用できる使用権を、お客様に許諾します。
2. お客様は、本ソフトウェアをその他の著作物と同様に扱っていただく必要があります。
3. 本ソフトウェアの仕様、デザインおよび説明ファイルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
4. お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
5. ロジテックINAソリューションズ株式会社は、本ソフトウェアを運用した結果に関してもいかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。
6. ロジテックINAソリューションズ株式会社は、本ソフトウェアおよびその関連説明ファイルの内容に関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
7. いかなる場合であってもロジテックINAソリューションズ株式会社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる損失、商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。
8. 本ソフトウェアを使用したことにより、お客様のデータがソフトウェアの誤動作、ハードウェアの故障、ハードウェアの誤動作、その他そのような理由によって破壊された場合でもロジテックINAソリューションズ株式会社での保証は致しかねます。万が一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップを行うようお願い致します。
9. 本ソフトウェアは日本国内仕様ですので、本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、ロジテックINAソリューションズ株式会社ではいかなる責任も負いかねます。また、ロジテックINAソリューションズ株式会社では海外での(海外に対してを含む)サービスおよび技術サポート等は行っておりません。
10. 本ソフトウェアおよびその関連説明ファイルの一部または全部を、ロジテックINAソリューションズ株式会社に無断で転載することは禁止されております。

2. 本製品の特徴

- パスワードロックで、データの漏洩リスクを低減します。
本製品に対する読み出し、書き込みを行うためには、パスワードによる認証が必要です。
パソコンから本製品を取り外した場合、再起動した場合、スリープモードに入った場合に自動的にロック状態となります。
※パスワードロック機能の操作は、本製品に保存されたソフトウェア「パスワード管理ツール」により行います。
※製品出荷時には、パスワードが設定されておりません。「パスワード管理ツール」にて、パスワードを設定してからご利用ください。
※スリープモードにする際は暗号化ボリュームをアンマウントしてください。
データが破損する恐れがあります。

 - 書き込まれるデータは、自動的に暗号化されます。
本製品に対するデータの書き込みは、内蔵のコントローラによりすべて自動的に暗号化されます。
このため本製品を分解し、中のハードディスクが取り出されたとしても、データの漏洩リスクを低減できます。
またデータの読み出し時には自動的に復号されるため、データが暗号化されていることを意識することなくご利用いただくことが可能です。

 - 強力な AES-XTS 256bit で暗号化。
本製品の暗号化アルゴリズムには、AES-XTS 256 bit を採用しています。
- ※ **ご注意** ※
- 本製品のパスワードロック機能および暗号化機能は、情報漏洩のリスクを低減する事を目的としたものであり、情報漏洩を完全に防止する事を保証するものではありません。

 - パスワードを忘れてしまった場合、本製品に保存されているデータにはアクセスすることができなくなります。パスワードの管理にはご注意ください。

 - パスワード入力によるロック解除を連続で4回失敗した場合、一時的にロック解除不可能な状態になります。
再度パスワード入力によるロック解除を有効にするためには、一度パソコンから取り外し、電源を入れ直す必要があります。
AC アダプタを使用している製品は AC アダプタを取り外すことにより再入力できる状態となります。
電源スイッチの OFF/ON では入力できる状態になりませんのでご注意ください。

 - 本製品は PC へ2台以上接続する事はできません。

 - 本製品は起動ドライブとしてご利用いただく事はできません。

第 1 章 ユーティリティ概要

1-1 「パスワード管理ツール」の概要

「パスワード管理ツール」は外付け型暗号化ハードディスクユニット「LHD-ENU3BSM」「LHD-PBMU3BSM」シリーズでパスワードロック機能を利用する際に必要なソフトウェアです。

下記の機能を実装しています。

- ・ パスワード認証によるロック／アンロック
- ・ 認証用パスワードの設定
- ・ 認証用パスワードの変更
- ・ パスワードのリセット

※パスワードのリセットは、パスワードを忘れてしまった場合の緊急措置です。
保存されているデータは全て失われます。

1-2 動作対象機種

動作環境

<接続可能なパソコン>

USB3.0/2.0 ポートを搭載する Intel Mac シリーズ

<対応 OS>

macOS Sierra (10.12)

Mac OSX 10.11、10.10、10.9、10.8

※対応 OS は、いずれも日本語 OS に限ります。

第2章 基本操作

2-1 パスワードの登録(初回のみ)

出荷時状態では本製品にはパスワードが登録されていません。バックアップユニット内部のデータは暗号化されていますが、USB コネクタ経由でのアクセスは常時「アンロック」状態になっています。データ漏洩を防止し、暗号化を行うためにパスワードを登録します。

※ ご注意 ※

出荷時状態(パスワード未登録状態)のまま、本ユニットにデータを書き込まないでください。

- ① ロックステータスに「パスワード未設定」と表示されているのを確認し、新しいパスワードを2回入力し「パスワード設定」ボタンをクリックします。
パスワードは6～32文字の半角英数字が設定可能です。また、アルファベットの大文字と小文字は区別されますのでご注意ください。
セキュリティ上パスワードはアルファベットの大文字と小文字を混在させ、さらに数字を加えた8文字以上での登録をお勧めいたします。
(「パスワード未設定」以外の表示がされている場合は、既にパスワードが登録されています)。

LHDPTWTOOL - パスワード設定

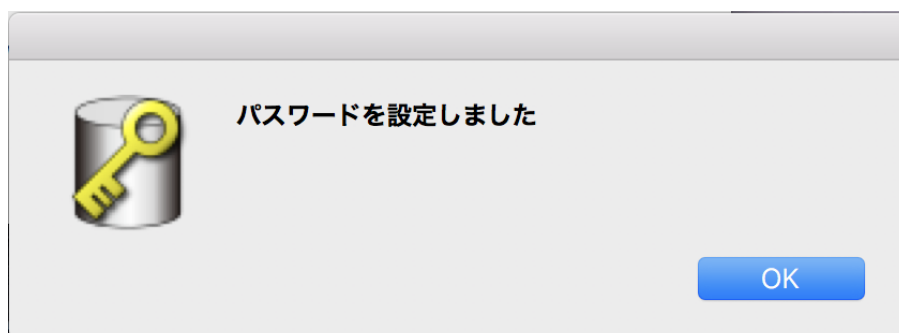
ステータス: **パスワード未設定**

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

パスワード設定 キャンセル

② パスワード設定完了のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。



※ ご注意 ※

パスワードを忘れると、本製品に保存されているデータにアクセスできなくなります。逆にパスワードがあれば第三者も保存されているデータにアクセス可能になります。登録したパスワードは厳重に管理してください。

以上でパスワードの登録は完了です。

2-2 アンロック

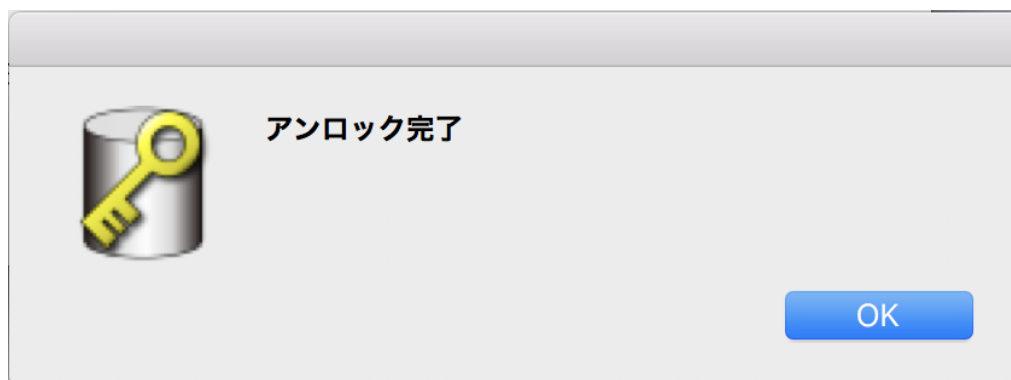
本製品は、ロック状態のままではドライブにアクセスする事ができません。暗号化されたドライブにアクセスするためには、以下の手順でアンロック状態にする必要があります。

- ① ロックステータスに「ロック中」と表示されているのを確認し、本製品に登録したパスワードを入力し、「アンロック」ボタンをクリックします。



パスワードはアルファベットの大文字と小文字が別の文字として扱われます。
入力の際はご注意ください。

- ② アンロック完了のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。



以上でアンロック作業は完了です。

※ ご注意 ※

パスワードによる認証に続けて4回失敗すると、本製品は「アンロックリトライエラー」となります。

この状態ではパスワードの入力を受け付けません。

一度システムから取り外し、電源を入れなおす必要があります。

ACアダプタを使用している製品はACアダプタを取り外してください。電源スイッチによるOFF/ONではリセットがかかりません。ご注意ください。

2-3 ロック

アンロック処理後、本製品を再びロック状態への移行が必要な場合は以下の手順でロックを行ってください。

- ① ステータスに「アンロック」と表示されているのを確認し、「ロックボタン」をクリックします。

LHPWTOOL - パスワード変更/ロック

ステータス: アンロック中

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

ロック パスワード変更 キャンセル

- ② アラートダイアログが表示されますので暗号化ボリュームをアンマウントしたことを確認し「ロックを開始」をクリックします。

 **ロックを開始します**

ロックを開始する前に、暗号化ボリュームをアンマウント/ゴミ箱ドラッグしてください

ロックを開始 **ロックを中止**

以上でロック作業は完了です。

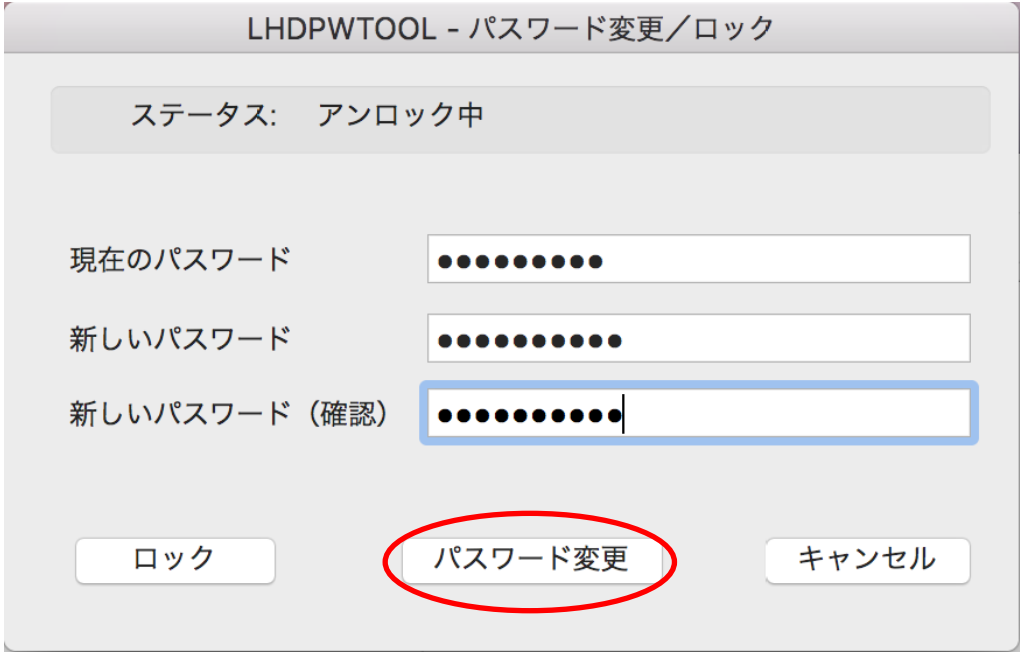
※ ご注意 ※

本製品へのアクセス中であっても、強制的にロックステータスへ移行します。
このため、保存が完了していないデータは破損する可能性があります。
ロックはデータの保存等の処理が完了してから実行してください。

2-4 パスワードの変更

一度登録したパスワードを変更する時は以下の手順で行ってください。パスワードを変更するには本製品が「アンロック状態」である必要があります。アンロック状態でない場合は、「2-2. アンロック」を参照いただき、アンロックを行ってください。

- ① 現在登録しているパスワードと新しいパスワード(2回)を入力し「パスワード変更」をクリックして下さい。パスワードは6～32文字の半角英数字が設定可能です。また、アルファベットの大文字と小文字は区別されますのでご注意ください。
セキュリティ上パスワードはアルファベットの大文字と小文字を混在させ、さらに数字を加えた8文字以上での登録をお勧めいたします



LHPWTOOL - パスワード変更/ロック

ステータス: アンロック中

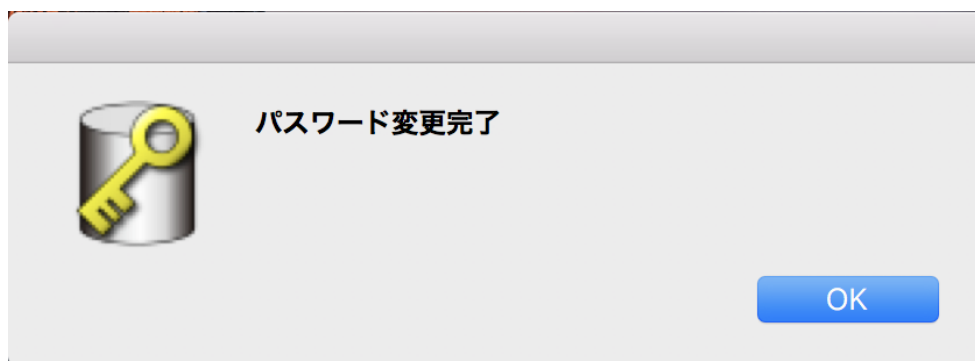
現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード (確認)

ロック キャンセル

- ② パスワード変更完了のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックしてください。



※ ご注意 ※

パスワードを忘れると、本製品に保存されているデータにアクセスできなくなります。逆にパスワードがあれば第三者も保存されているデータにアクセス可能になります。登録したパスワードは厳重に管理してください。

2-5 パスワードのリセット

パスワードを忘れてしまった場合は本製品にはアクセスできなくなりますが、保存されているデータを全て破棄することを条件に、パスワードをリセットする事は可能です。

パスワードをリセットすることにより、パスワードロックは解除されます。

その後、新しいパスワードを登録する事により引き続きパスワードロック機能をご利用いただけます。

パスワードのリセットは下記の手順で行ってください。

- ① ステータスが「ロック」になっている状態で、「LHDPWTOOL」メニューから「パスワードをリセットする」をクリックします。



- ② 初期化の確認ダイアログボックスが表示されます。
ここで、メッセージにしたがってチェックボックスのチェックと、サイン編集ボックスへ文字列 'RESET' を入力して下さい。



※ ご注意 ※

初期化を実行しますと、保存されているデータは全て破棄されます。実行する場合は十分ご注意ください。

- ③ 「初期化」ボタンをクリックすると、パスワードがリセットされます。
パスワードのリセット処理が完了すると、下図のメッセージボックスが表示されます。
ここでは「OK」をクリックしてメッセージボックスを閉じてください。



- ④ パスワードのリセット後、本製品の電源を入れなおしてください。

以上でパスワードのリセット作業は完了です。
再度パスワードを登録していただき、「ディスクユーティリティ」などから論理フォーマットを行った上でご利用ください。